

2020年5月12日
株式会社フィスコ (3807 JASDAQ)

企業のIR説明会文字起こしサービスにおけるAIを活用した リアルタイム自動作成の実証実験を開始 ～オルツテクノロジーズの「AI GIJIROKU(AI 議事録)」と連携～

株式会社フィスコ(JASDAQ 上場、証券コード「3807」、本社:東京都港区、代表取締役社長:狩野仁志、以下、「フィスコ」)は4月24日に「IR説明会の動画および文字起こしサービスを開始」を開示しておりますが、企業のIR説明会の文字起こしサービスにおいて、株式会社オルツテクノロジーズ(本社:東京都港区六本木、代表取締役:米倉千貴、以下「オルツテクノロジーズ」)と連携し、オルツテクノロジーズの音声認識システム「AI GIJIROKU」における精度(単語誤り率)を、プロの速記者に匹敵するとされる5.1%未満に近づけ、リアルタイムでの文字起こしを実現する実証実験を進めることで合意しましたのでお知らせします。将来的には全上場企業のIR説明会のリアルタイムでのテキスト化を目指し、フィスコの情報配信プラットフォームを活用した迅速な配信を実施してまいります。

決算情報は投資を行ううえで重要な判断材料となりますが、決算情報だけでは重要な箇所が分かりにくいと、多くの機関投資家、個人投資家およびアナリストはIR説明会に直接参加、またはIR説明会動画によって情報の補完に多くの時間を費やしています。しかしながら、政府の緊急事態宣言の期間が延長されたことを踏まえ、公益社団法人日本証券アナリスト協会より、「IRミーティングについては、5月中の開催を取り止める」と発表されています。このため、フィスコではIR説明会の動画制作支援および内容の文字起こしサービスを開始しました。全文書き起こしにより、短時間で自分の知りたい情報を見つけることができるため、忙しい投資家にとって効率的な情報収集も可能にします。

「AI GIJIROKU」は、オルツテクノロジーズの高度な自然言語処理技術とパーソナライゼーションの技術が駆使されています。具体的には、従来、音声認識にミスがあった場合、その都度入力し直しの手間が発生していましたが、「AI GIJIROKU」では、話者の音声データを蓄積し、機械学習の学習素材とすることで、オルツ研究チームの成果である、「パーソナライズ AI モデル」を生成、ツールの使用回数が増えると認識精度が高まる仕組みとなっています。

フィスコとオルツテクノロジーズは、今後、高度な人工知能技術を用いて、上場企業のIR活動支援に役立つサービスを展開してまいります。



News Release

【株式会社フィスコの概要】

会社名：株式会社フィスコ <http://www.fisco.co.jp/>

所在地：東京都港区南青山五丁目 11 番 9 号

設立日：1995 年 5 月 15 日

代表者：代表取締役社長 狩野 仁志

事業内容：金融機関、投資家、上場企業を支援する各種情報サービスの提供

【株式会社オルツテクノロジーズの概要】

会社名：株式会社オルツテクノロジーズ <https://alt-technologies.com>

所在地：東京都港区六本木 7-15-7 SENQ 六本木 703

設立日：2019 年 4 月

代表者：代表取締役 米倉千貴

事業内容：人工知能及び人工知能関連技術の研究・開発及びこれに関するサービスのコンサルティング・企画・開発・運営

以上